

ものづくりを通して中学生に建設産業の魅力をアピール — ウッディーハウス風木造倉庫の新築を体験 —



引き渡し式



基礎鉄筋組立



基礎コンクリート打設



測量体験



木材加工・組立



完成



重機操作体験

【現状・課題】

●中学生は、将来の進路選択の大切な時期にありますが、働く現場とのふれあいが少ないのが現状であり、一方で、特に建設産業では、若い人が建設業に就職しないことが大きな問題になっています。



【取り組み】

●建設産業の魅力を一歩アピールするとともに、親近感を深め、将来の職業選択の参考になるように、(社)茨城県建設業協会と連携して、建設体験学習を実施しています。

●今年、行方市立麻生中学校の2年生(113名)が参加し、校内で倉庫の建設作業などを体験しました。

	建設作業体験	その他
1日目	基礎鉄筋組立 基礎コンクリート打設	測量体験
2日目	木材加工・組立	重機操作体験

【効果】

●体験した生徒からは、「楽しく作業を行うことができた。」「このような機会をつくってもらいありがとうございます。」との声をいただきました。

●この事業は、平成7年から年1校を対象に実施しており、今年で18回目になりました。中学生たちにとってこの体験は良い思い出となり、造られた倉庫は学校施設として使用されています。